
少女家畜

笹谷爽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

少女家畜

【Nコード】

N5104BA

【作者名】

笹谷爽

【あらすじ】

少女。家畜。四肢。欠損。食事。

(良い子は読んじゃ駄目な感じですよ)

少女は美しかった。彼女の顔写真を見せれば十人中十人が可愛いだとか綺麗だとか月並みな表現でその容姿を褒め称えるだろう。

男は少女の肩に流れる白銀の髪を手に滑らせる。少女は青い瞳で男の行為をただ眺める。少女はぼんやりと口を開け男の手を受け入れた。良い子だ。男が低い声音で語りかけると少女は白痴の笑みを浮かべる。

今日はね。とても喜ばしい事があったんだ。だから今日はお祝いだ。男は少女のおとがいをそっとくすぐる。少女は澄んだ笑い声をあげた。

さ、おいで。男の言葉に従い少女は四足歩行で後を追う。少女には手がなかった。足がなかった。腕は肘の辺りから。足は腿の中程から。四肢が欠損していた。だから少女は犬のように男の後を追った。実際、少女は家畜であった。

加えて言うなら少女は裸であった。四つん這いに移動する少女の乳房は重力と慣性により揺れる。だが少女は羞恥を覚えた様子はなく、どころか嬉しげでさえあった。

男は調理場まで行くと大型冷蔵庫を開ける。中から取り出すは細い脚であった。冷凍されていたため霜がおりている。間違いなく人の脚であった。

ほら。お前の脚だよ。男はそう言って少女に見せてから慣れた手つきで少女の脚だった肉片を捌いてく。少女は親しげに男の足元にまわりつきながら興味深そうにその手順を見ていた。

やがて完成したのはハンバーグであった。程良く焼けた肉塊に血のように赤いソースがかけられている。

いただきます。男は静かに手を合わせてから食事を始める。一口食べてから男の唇が綻ぶ。美味しい。料理の出来満足し、棲みかで

待機していた少女に手招きをする。呼ばれた少女は急いで男の元に駆け寄る。

ほらお食べ。あらかじめ用意していた餌皿を座る椅子の傍に置く。少女はそぼる状にほぐされたハンバーグを食った。

美味しいかい。男は少女に問う。だが少女は餌を食べるのに夢中だった。返事はない。

いけない子だ。男は食事の手を止めて少女の乳房や恥部をいじる。少女は嬌声を漏らし潤んだ瞳で男を見上げる。美味しいかい。問われた少女は頷く。なら食べないと。残しちゃ駄目だよ。少女は再び餌皿に向かう。男も再度少女の体を弄ぶ。次第に少女の吐息が熱を帯び荒くなる。全てを食べ終わった時には少女の花弁はしとどに濡れていた。

本当にいけない子だ。濡れた指先を見て男が嗤う。それ見た少女も蕩けた笑みを浮かべた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5104ba/>

少女家畜

2012年1月14日01時46分発行